

プレスリリース

2019 年 2 月 18 日

報道関係者各位

AutoForm R8 – デジタル工程チェーンの効率化

プレス成形業界向けソフトウェア・ソリューションの世界有数のサプライヤーであるオートフォーム社は、最新のソフトウェア・バージョン R8 を発表しました。このリリースに伴う新機能や機能強化によって、デジタル工程チェーンの効率化をサポートします。特に順送金型、スプリングバック見込み補正、パッチワーク・ブランクを適用した部品に関連する作業に有効です。

AutoForm R8 では、デジタル工程チェーンの効率化を可能にする重要な新機能が搭載され、多くの機能強化も行われています。このバージョンは、昨年の顧客調査にて寄せられたユーザーのみなさまのご意見をもとに、開発が進められました。

AutoForm R8 では、ストリップ・レイアウトの定義が改善されました。まず 1 個取りまたは 2 個取り部品のレイアウトを定義し、その後、複数のネスティング・オプションを、迅速に評価および比較することができます。また、ブランク形状やネスティングの予測、材料使用量の削減、あるいは部品コストの早期見積りも簡単に実行できます。また、ウェブ・デザインの新機能によって、事前定義された形状だけでなく、任意の形状も、手間なくモデル化することが可能となりました。

このバージョンでは、スプリングバック見込み補正のオプションも拡充されました。AutoForm R8 では、見込み補正に、予測値ではなく、実測値を適用することができます。見込み補正は任意形状に基づくため、部品のシミュレーション結果は必要ありません。このように、ヘミングまたはアセンブリのシミュレーションや実測値など、多岐にわたるソースから得た外部データを使い、金型を見込み補正できます。スプリングバック見込み補正のソース・データに柔軟性があるため、その適用範囲が広がります。

さらには、実現可能なパッチワーク・ブランクのプレス成形工程も設計できます。部品の成形性を予測したり、パッチワーク・ブランクのサイズや設定を検討する上で、シミュレーションを信頼できる手段として使用することができます。

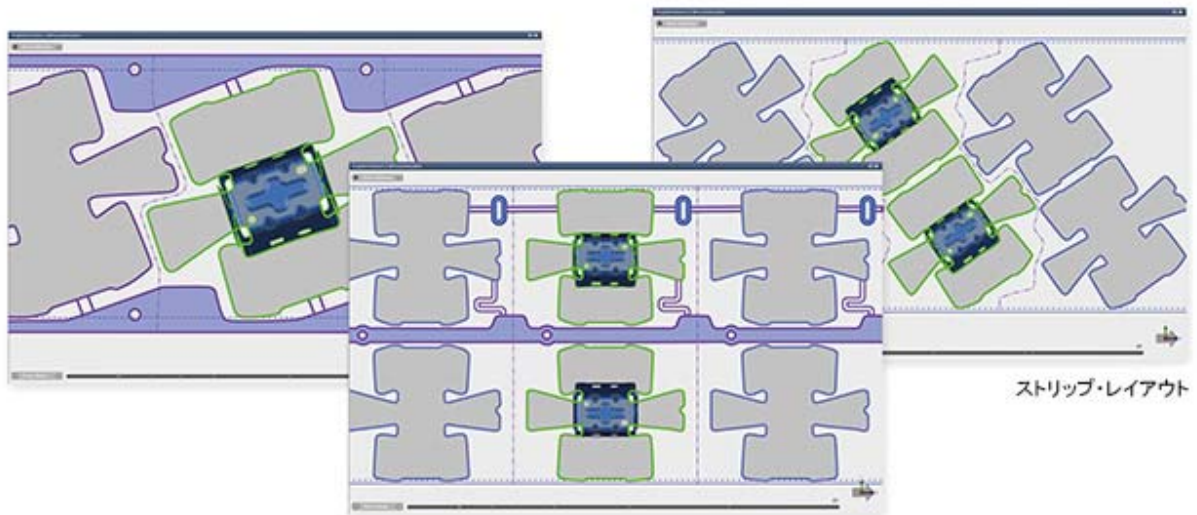
オートフォーム社のコーポレート・マーケティング・ディレクターであるマーク・トマのコメントです。「弊社の製品やサービスについて、お客様にご満足いただくことが、最も重要だと考えています。このリリースを開発する上で、世界各国のお客様から、新機能や機能強化に関するご希望やご意見をいただき、参考にさせていただきました。AutoForm R8 に搭載されたすべての新機能や機能強化は、お客様の日常業務を改善および促進します。新たな目標に到達するため、またデジタル工程チェーンをさらに効率化するためにも、AutoForm R8 は大変有益です。」

オートフォーム社について

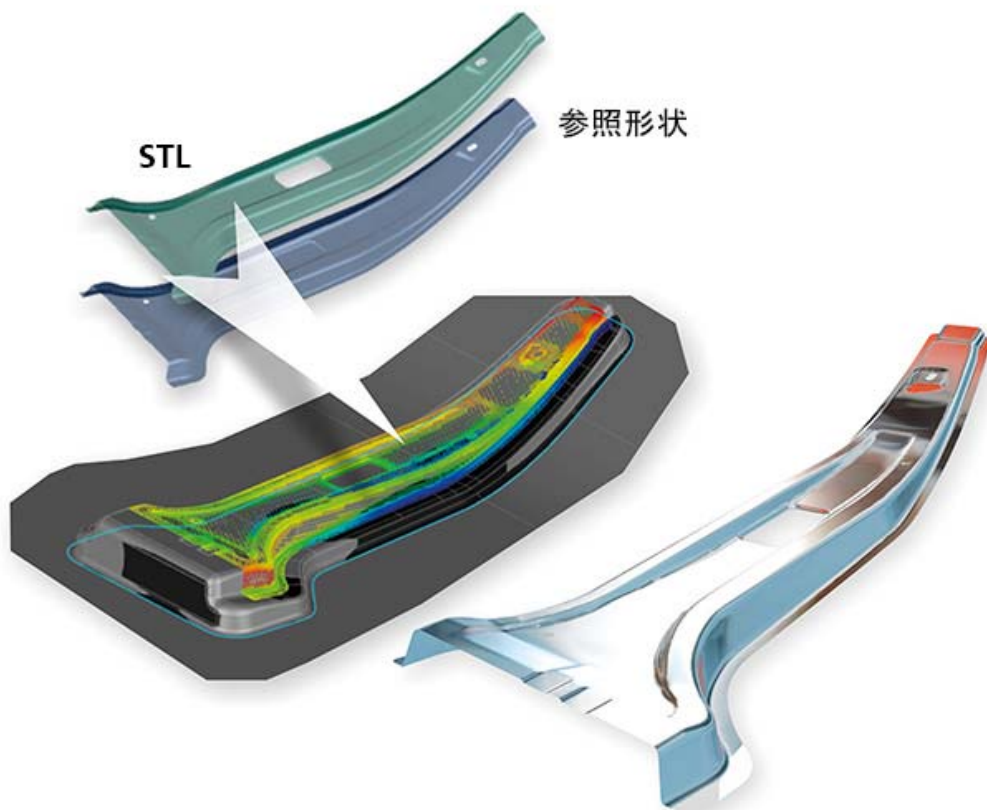
オートフォーム社は、金型設計およびプレス成形業界のプロセス・チェーン全体にわたるソリューションを提供しています。業界に精通した社員 350 名を擁し、製品の製造、工具・原料費計算、ダイフェース設計、バーチャル・プロセス最適化に特化したソフトウェアのリーディング・カンパニーとして高く評価されています。大手自動車メーカー 20 社やほぼすべての関連企業が、AutoForm を利用しています。スイスのチューリッヒを本拠として、その拠点網はドイツ、オランダ、フランス、スペイン、イタリア、チェコ、スウェーデン、アメリカ、メキシコ、ブラジル、インド、中国、韓国に広がっています。その他 15 カ国以上に代理店を設けています。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。www.autoform.com

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

オートフォームジャパン株式会社 担当: 湯浅
〒105-0004 東京都港区新橋 5-8-11 新橋エンタービル 9 階
TEL: 03-6459-0881 / E-mail: marketing@autoform.jp



AutoForm R8 では、まず 1 個取りまたは 2 個取り部品のレイアウトを簡単に設計できます。そして複数のネステイング・オプションを迅速に評価および比較できます。



AutoForm R8 では、任意形状に基づくスプリングバック見込み補正が可能です。シミュレーション結果は必要ありません。STL ファイルなど、実際にスキャンした部品を見込み補正のベースとして使用できます。

高解像度の画像データが必要な場合はお問い合わせください。